道がないほど、たくさんある。「―ほどの才能を持ちながら無為に過ごす」

ありあまる④【有り余る】(自五) 差し当たっては使い

ありあり③(副)―と ❶そうであることが第三者の目にもはっきりと認められる様子。「ヘリコプターからも地滑りの跡が―と見えた」 ❷過去の出来事などが、今眼前に見えるごとく記憶の上に、すっきりと現われる様子。「きのうの事のように―と覚えて、

ありあわせ【有り合わせ】ちょうどその場にある△ことと(もの)、料理―(自工)

アリア

さんがい【三界】❶仏教で、すべての生きもの(三界)の生死輪廻する(わ)せ)斗で手っ取り早く作った]

さんがい【山海】❶細分されるといりのこの世を指す)(広義で色界・無色界の三界)の三界に家無し(世界じゅう、生きている限り)(造語)ならんの肩書なんかいらない(子供というものは)(広義で色界・無色界の三界)の三界に家無し(世界じゅう、生きている限り)(造語)ならんの肩書なんかいらない(子供というものは)

さんがい【残骸】❶戦場や災害地に捨てられた乗り物・建物などの残片。

さんがい【惨害】❶跡形も無くなるまでこわされた死体。❷天災や戦争による悲しい損害。

さんがく①【三角】❶三つの角がある図形。❷三つの角がある立体。❸三角関係。

さんがく①【三学】❶仏教で、戒・定・慧の三つの修行。❷仏教で、経・律・論の三つの教法。❸学問の三分野。哲学・文学・歴史など。

さんがく①【三楽】❶孟子が説いた、人生の三つの楽しみ。父母が健在で兄弟に事故がないこと、天地に恥じないこと、優れた人物を教育すること。❷三つの楽器。琴・笛・琵琶など。

さんがく①【山岳】❶山と谷。❷山。

さんがく①【参学】❶仏教で、師について教えを受けること。❷学問をすること。

さんがく①【算額】❶和算で、問題を解いた人の姓名・年齢・解法などを書いて神社・仏閣に掲げたもの。

さんがく①【残額】❶残り(の数量)。

さんがく①【三月】❶三か月。❷陰暦三月。❸陰暦三月の異称。

さんがく①【三学】❶三つの学問。

さんがく①【三角】❶三つの角がある図形。❷三つの角がある立体。❸三角関係